

平成29年度第3回 鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

- 1 日 時：平成29年7月14日（金）
午後1時30分～4時30分
- 2 場 所：鹿島区役所大会議室

【 会 議 録 】

1 開 会

○事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数15名

【出席委員名】 10名

五賀和雄、丹野常昭、多田和夫、大塚悦子、星ちづ子
大内 彰、西 道典、菅野行雄、前田典郎、高橋雅美

【欠席委員名】 5名

松野豊喜、豊田ミサ子、但野喜直、森和浩、渡部裕幸

委員の過半数が出席していることにより、本会議が成立していることを確認。

2 会長あいさつ

3 区役所長あいさつ

4 会議録署名人の指名

五賀会長が会議録署名人に西 道典委員と菅野行雄委員を指名。

5 議事

(1) 報告事項

①みちのく鹿島球場へ愛称をつけることについて

○五賀会長

それでは、報告事項に入ります。担当より説明を求めます。

○文化スポーツ課長

資料により説明

○五賀会長

只今、担当より説明が終わりました。委員の皆様から質問はございますか。

○前田委員

楽天球団にはドローン等で協力してもらっているので基本的に賛成です。しかし、個人の意見としてはパブコメや公募で意見を募って愛称を決めていただきたかったです。では、報告の件で質問が何点かあります。楽天球団から150万円とありますが、これは何年続いているのか。また、広告掲載について企業への打診は何社へ行ったのですか。今回楽天と協定を結ぶということですが、県内にも球団はありますし、関わりのある球団だと読売巨人軍もあります。震災前はみちのく鹿島球場で試合をしてきていたのは読売巨人軍が多かったです。震災後、楽天球団からさまざまな支援を受けていることは承知していますが、楽天ありきで進めるのではなく、そういうところにも声をかければよかったと思います。

○文化スポーツ課長

1点目の150万円の支援について平成27年度のみちのく鹿島球場復旧記念事業として楽天球団から南相馬市の小学新1年生全員にキャップの贈呈がありました。これが約105万円相当、また1軍戦の招待を市民100名が受け、その送迎ですが40万円相当。併せて150万円が平成27年度、28年度また今年度と行っていただいております。これが今後も継続されることは確認済みです。加えてパートナー協定で少年・少女向けの野球教室である「楽天イーグルス・野球塾」また、運動、スポーツ連携した子ども達の健康イベントを開催することを確認しています。それでは2点目、パブコメについて意見がありましたが、公共施設に広告媒体を掲載し、広告料を支払っていただくものについては南相馬市広告掲載実施要綱に基づき進められますが、これを実施するには広告料を支払っても掲載したいという意向がなければ公募には至りません。先ほど説明させていただいたとおり、楽天球団から南相馬市にこれまでの支援に加え、それ以上のバックアップをしたいと提案があったことで、楽天球団からは広告料の支払いは求めない形をとることとなりました。また、私どもの方で市内の5社に意向を聞いたところ、いず

れもみちのく鹿島球場に広告料を支払って掲載する意向はないということでした。3点目の醜死巨人軍についてですが、ジャイアンツ戦が開催されていたことは承知しています。しかし、楽天球団については震災後の多大なる支援と南相馬市の子どもたちへのスポーツ振興及び健康支援について楽天球団と南相馬市の意向が合致したことが今回協定を結ぶこととなった大きな要因です。

○前田委員

関連でもう1点。みちのく鹿島球場に放射線の測定器が2台あります。1台でよいと思うのですが、裁判はどこまで進んでいるのでしょうか。

○鹿島区地域振興課

県が設置している線量の測定器だと思うのですが、現在裁判途中と思われるのでそのまま活用もできないし、撤去もできないためもう1台設置してあるという状況だと聞いております。

○前田委員

8月26日に皆さん集まるので2台あることで気になる人がいるのではないかと思います、お聞きしました。了解しました。

○丹野副会長

みちのく鹿島球場の話になると毎回話題になるのがサブグラウンドと駐車場の問題です。千倉の仮設を取り壊すということですが、現在も入居者がいる状況です。真野交流センターは上真野地区のグラウンドゴルフ大会で使用するので状況を聞いたところ、グラウンドの半分は草が生えていて使えないと山田喜一郎先生から話がありました。今後の予定が決まっていれば教えていただけますか。

○文化スポーツ課長

8月26日のイースタンリーグの駐車場についてはふくしま未来農業協同組合鹿島総合支店の協力をもらいました。また、西町の仮設住宅の敷地を確保しながら昨年よりも駐車台数が増えるように調整をしているところです。また、常磐線が開通して初めてのイースタンリーグとなります。鹿島駅からみちのく鹿島球場へいらっしゃる方が想定されることから、シャトルバスを運行します。現在バス会社と確認を取っていきまして、来場者に支障が出ないように調整をしている段階です。それからこの球場について設置の段階から課題となっていたかと思いますが、サブグラウンドがないことです。これによって、イースタンリーグを開催する際に選手たちは前日の練習を相馬市で行うこともあります。これについては担当も課題と捉えており整備をなんとかしたいと考えておりますが、財源が確保されないという状況です。これについては今後も課題として継続検討を行って参ります。

○丹野副会長

サブグラウンドについては財源次第で進むか進まないかが決まるということでしょうか。

○文化スポーツ課長

市は財源がなくとも必要なものは進めますので、財源だけが理由というわけではありませんが、国・県の補助金また民間の力を借りて活用できるものがあるか確認しながら、進めていきたいと考えています。

○前田委員

関連の関連ですが、鹿島駅からシャトルバスを運行するということが、鹿島駅の駐車場に白線を引く話はどうなりましたか。また、時計台にある2台の時計の時間が正確ではなく遅れていますので直した方がよいのではないのでしょうか。8月26日に人が集まるのでそれまでに時計は直した方がよいと思います。

○鹿島区役所長

駅の白線については股計を組みつつ検討しています。時計台については商工会の商業部会が市のモデル実験事業を活用して設置したものです。時計の針が遅れていることは承知してしまして、部会長に正常な表示をするように申し上げています。再度申し上げたいと思います。

○西委員

本市に設置する施設はどこにどのような施設を設置するような予定ですか。また、設置の際に市からもお金は出すのでしょうか。併せて千倉のテニスコートは現状復帰ということですが、硬いコートに戻すということだと思います。どうせ直すのでしたら原町区、相馬市のテニスコートと同様に人工芝や砂にしてほしいという思いがあります。また、千倉のテニスコートにナイターを点灯させて子ども遊と大人が利用できるように1面だけでも良いので3月までにしていただきたいのですがいかがでしょうか。

○文化スポーツ課長

1点目の500万円を原資として整備する施設の例として TOHOKU SMILE PROJECT の第1弾である相馬市に建設した施設は総額2億円で、全て楽天球団で負担をして相馬市へ寄附をしました。第2弾は岩手県大槌町です。ここは芝生化して3,000万円。これも楽天が負担をして町へ寄附をしています。今回第3弾になる訳ですが、幼児、小学校低学年を対象とした野球を親しめる施設を500万円を上限に楽天が整備した上で本市へ寄附するものです。具体的には、ボールを投げる壁とフェンス、必要であれば芝を整備するものです。場所については南相馬市で候補地を提示することとなっていますので選定をしているところです。2点目について集会所が無くなり次第、福

島県を通じて文科省の方に災害復旧としてをエントリーしておりますので、復旧に取り掛かります。ただし、こちらは現状復旧が大前提となっておりますので西委員から提案のあったことをやるのであれば市の単費となります。今回、西委員からの提案は市のテニス協会の役員からも同様の意見をいただいているところでありますので、両者の意見を踏まえながら前向きに進めたいと考えています。3点目のナイター関係です。災害復旧されていない状況ですが、教育委員会の方からぜひ貸してほしいということで現在教育委員会へ貸しているところです。スポーツ施設として安心安全な管理が十分に整えられた後に西委員から発言のあったような部分も含めて対応していきたいと考えています。

○前田委員

みちのく鹿島球場はナイター設備の設置計画はあるのですか。

○文化スポーツ課長

担当としては課題と捉えています。球場整備の際、照明をとという話があったと聞いています。ただ、当時財源が無く、設置できなかったということです。一般的な話をしますと、みちのく鹿島球場程度の施設であれば照明があつていいと思っています。災害復旧をする際、併せてナイター設備の設置について検討しましたが、国・県からの財源の目途が立たず断念したところでしたが、サブグラウンド同様継続検討しているところです。

○五賀会長

今回の8月26日開催のイースタンリーグの駐車場としてサブグラウンド予定地は利用できないのでしょうか。

○文化スポーツ課長

農地転用の前提条件に触れない形で約100台程度置けないか県と調整しているところです。

○五賀会長

他になければこの件について了承することといたします。

(2)協議事項

①鹿島区地域ビジョンについて

○五賀会長

次に「(2)協議事項 ①鹿島区地域ビジョンについて」事務局より説明をお願いします。

○鹿島区地域振興課振興係長

「資料1 第3回鹿島区地域協議会での鹿島区地域ビジョンの協議内容について」と「鹿島区地域ビジョン見直しに係るアンケート(行政区長用)回答

結果」を基に説明

○五賀会長

事務局より説明がありました。では、まず「1）体系図の項目から削除する基準について」皆さんで協議したいと思います。50%の基準を設けて削除するか、しないかということによいかどうかですが、事務局より補足説明をお願いします。

○鹿島区地域振興課振興係長

今決めていただく基準についてですが、この地域ビジョンは平成26年2月に完成しています。それ以降復旧復興の事業が進んでいまして、区長さんへ完了している項目はありますかという内容のアンケートを実施したところです。その中で今回決めていただく基準は事務局案としては50%です。50%を超える完了だと認識している項目は体系図からは削除してはどうかと考えています。今回、区長さんから回答のあったアンケートの中の完了の回答で50%を超えた項目でいうと5項目です。このように、多くの区長さんが完了と考えているものについては削除の対象としていいのではないかと考えています。また、今後区長さんだけではなく、各種団体に対してもアンケートや聞き取りを行っていく予定です。そして最終的に集まった意見で50%を超えたものについては削除してはどうかという風に考えているところです。現時点で50%を超えているから即削除というわけではありません。今後、意見を集約していく中で50%以上の方が完了としたものを削除の基準としてはどうかという提案です。

○前田委員

この鹿島区地域ビジョン見直しに係るアンケート（行政区長用）回答結果で40行政区中39行政区とありますが、地域協議会委員は何名から提出があったのでしょうか。

○鹿島区地域振興係長

7件で過半数に達しませんでした。

○丹野副会長

区長会で50%以上のものを削ればいいのではないのでしょうか。

○鹿島区地域振興課長

区長の皆さんへは8月から面談をしていきたいと考えています。

○五賀会長

出していただいたものから精査をします。項目ごとどういう理由で完了としたのか、継続したのかが分かれば完了や継続の判断がしやすくなります。50%以上、以下を現時点で決めてよいか協議したいです。

○前田委員

回答結果を見ると地域ごと課題が出ていて15人の地域協議会委員の判断が出ていない状態では決められないのではないかと私は思います。

○丹野副会長

行政区長の見ている目は間違っていないと思いますので挙げていただいた課題が間違ったものではないと思います。

○五賀会長

今日の会議の中で今の段階として判断基準は50%以上を基準としてよいでしょうか。

○委員より

異議なしの声

○五賀会長

異議なしということですので、50%以上を基準とします。

①鹿島区地域ビジョンについて

2) 体系図の項目で現状と合っていないものについて

○五賀会長

次に、「2) 体系図の項目で現状と合っていないものについて」事務局より説明を求めます。

○鹿島区地域振興課振興係長

「資料1 第3回鹿島区地域協議会での鹿島区地域ビジョンの協議内容について」と「鹿島区地域ビジョン体系図」を基に説明

○五賀会長

只今、事務局より説明がありました。これより示された部分を削除するかそれとも文言を変えて体系図に載せるのか協議していきたいと思います。

○前田委員

これについては事務的なことなので、委員が決めることではないと私は思います。

○五賀会長

では皆さんから意見がないようですので、事務局から示された3点は現実に合わないということで削除することよろしいですか。

○委員より

異議なしの声

○五賀会長

異議なしということでしたので3点は削除することとします。
その他何かありますか。

○西委員

この3点以外にも現状と合っていない部分があります。例えば「県立養護学校の勝致推進」ですが、これは決まりましたよね。また、「鹿島分署の改築」これも削除してよいのではないのでしょうか。

○鹿島区地域振興係長

西委員から今ご指摘ありました。今回まさにここで協議していただく内容としてここは削除した方がよいのではないかと、直した方がよいのではないかと提案いただき、協議の中で「削除します」と決めていただければ事務局側で削除します。

○丹野副会長

私もこれを見たとき、西委員と同意見でした。しかし、この前、養護学校の予定地で作業している人に何をしているか尋ねたところ、発掘するための調査をしているという話でした。これから発掘等していくうえで県へ地元の要望等を出す機会があるかと思うので残しておいた方がよいのではないのでしょうか。消防鹿島分署のように形を整えつつあるものや真野交流センターのように形としてあれば消していいと思いますが、まだあの状態では残しておいた方がいいと私は思います。

○西委員

ただ、勝致推進ではないと思うのです。

○大塚委員

1つ1つ見ていくと細かく削除できるものが多くありますね。仮置き場の確保はもう終わっていると思いますし、賠償の差別は今言ってもどうしようもないと思います。このように1つ1つ見ていくと半分くらいに減るのではないかと思います。決める時もこのように決めたと思うので、何を外して何を足さなくてはならないのかが出てくると思いますね。

○鹿島区地域振興課振興係長

大塚委員ご指摘のとおりで、鹿島区地域ビジョン体系図を細かく見ていくと現状と合っていない部分があります。今後見直しを進める中で削除以外にも文言訂正が必要になってきます。なので、今後区長さんや団体に意見を聞いていく中で、先ほど50%の基準も決めていただきましたのでそれも含めて一度意見を聞いたうえで最終的な削除を決められればと思いますので、委員の皆さんには体系図の中から気になる部分に印をつけていただいて、今後意見をいただく機会を設けますので、その際に意見を頂ければと考えますのでよろしくお願いたします。

○菅野委員

地域に学び育つ街の部分で二宮尊徳の報徳仕法や道徳教育をしていく。日

本一の英語教育を南相馬市鹿島区で行い近代的な教育、グローバル教育をしていくことで人が集まってくるというような鹿島区にするために、事務局もこちらに関くだけでなく、皆さんも意見を出し合って案を策定していただき、議論し合うことがいいのではないかと思います。鹿島区に賑わいを取り戻すビジョンでないと意味がないと私は考えます。

○鹿島区地域振興課長

今アイデアを出すという意見がありましたが、事務局の方でも検討したいと思います。なお、委員さんからのアンケート結果を示せばよかったです。挙ってこなかったために今回の協議会には間に合いませんでした。委員の提案を受けて事務局でも工夫していきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいいたします。

○菅野委員

私は別紙で提出しています。

○鹿島区地域振興課長

菅野委員からは別紙で提出いただいています。全体的に出てこなかった。ので今回提示できなかった状況です。

○大塚委員

会長すみません。かしまの一本松は元気ですか。

○五賀会長

大丈夫です。

○西委員

排水処理場の拡大と増設について拡大したと聞いたのですが、今から拡大させるのですか。それとも終わっているのですか。

○鹿島区地域振興課長

新設のつなぎこみは難しいと聞いていますが、増設したかどうかの確認をして次回、回答させていただきます。

○丹野副会長

追加項目の要望事項として、真野川の立木やごみについては要望としてとらえていただきたいと思います。

○前田委員

委員の意見のクラスは黄色が苦手なのでゴミ袋は黄色にすれば被害がなくなるとは本当ですか。

○鹿島区市民福祉課長

これについては、クラスの嗅覚は弱く、視力はすごく良いという特徴があり、黄色が苦手というわけではなく、紫外線が苦手ということでした。杉並区ではこの特性を踏まえ、特殊なゴミ袋を作成したところ、色が黄色となっ

たということです。ですので、色を黄色にするだけでは被害は抑えられないと考えます。

○五賀会長

他に現状と合わない項目はありますか。無いようですので、次回以降話し合う機会に協議することで次に進んでよろしいでしょうか。

○委員より

異議なしの声

○五賀会長

それでは次に進みます。

①鹿島区地域ビジョンについて

3) 行政区長へ再度意見を聴取することについて

○五賀会長

「3) 行政区長へ再度意見を聴取することについて」事務局より説明を求めます。

○鹿島区地域振興係長

「資料1 第3回鹿島区地域協議会での鹿島区地域ビジョンの協議内容について」と「鹿島区地域ビジョン見直しに係るアンケート（行政区長用）回答結果」を基に説明

○五賀会長

只今、事務局より説明がありましたとおり、区長から出たアンケートには意見・要望が少なかったということで再度区長へ意見を聴取することでよいか皆さんで協議したいと思います。

○丹野副会長

8月10日に再度意見聴取とはどういうことですか。

○鹿島区地域振興係長

行政区の再編についての面談が予定されていますのでその時に併せて聞取りをできればと考えているところです。

○丹野副会長

10日に出た意見に対して面談をするのですか。

○鹿島区地域振興課長

8月10日は区長から挙げたアンケートの回答結果を報告するのみです。意見聴取は日を改めて面談形式で行っていく考えです。

○菅野委員

飯館村の村長のインタビュー記事が新聞一面で見ました。そこでは子どもを戻すよう施策が出てきていました。ビジョン作成のために他の市町村の施

策を集めてそれより1歩先の施策が盛り込まれたビジョンを作成すれば良いものができると思います。

○鹿島区地域振興課振興係長

事務局側も勉強する必要があります。委員ご指摘のとおり施策を集めて委員の皆さんにお示しし、共有できるようにしていきたいと考えます。

○前田委員

仮置き場はいつなくなるのですか。

○鹿島区地域振興課長

中間貯蔵施設が完成すればそちらに移ると思われます。今はまだ全て収容させるスペースはないので、現段階でいつという回答はできません。

○前田委員

一反9万円の契約を結んでいる共有地があります。値上げの交渉はできないでしょうか。できるか、できないかだけ回答をお願いします。

○鹿島区地域振興課長

担当でないのではっきり申し上げられません。委員から意見があったというのを担当部署へ話をしたうえでどうなるか前田委員へ回答したいと思いますが、交渉は難しいと思います。

○五賀会長

他にありますか。なければ再度区長へ意見を聴取することについて面談で進めることでよろしいか。

○委員より

異議なしの声

○五賀会長

異議ないようですのでこの方法で進めます。

①鹿島区地域ビジョンについて

4) 短期・中期・長期の年数について

○五賀会長

では次に「4) 短期・中期・長期の年数について」事務局より説明を求めます。

○鹿島区地域振興課振興係長

「資料1 第3回鹿島区地域協議会での鹿島区地域ビジョンの協議内容について」を基に説明

○前田委員

異議はありませんが、区長のアンケート結果の意見の部分で鹿島区内の町内の整備として1丁目、2丁目等の区境をはっきりさせてほしいとあります

が、はっきりしていないのですか。

○鹿島区地域振興課長

区長へこの意見について詳細を聞取りたいと思います。

○五賀会長

その他ありませんか。なければ年数は事務局提案のとおり、短期は1～2年、中期は5年前後、長期は10年と復興総合計画に併せた形とします。

(2) 協議事項

②視察研修について

○五賀会長

では次に「②視察研修について」事務局より説明を求めます。

○鹿島区地域振興課振興係長

委員の皆さんへアンケートを実施し、テーマ、行先、日程を回答いただきました。その結果について本日お配りしました「視察研修アンケート集計表」にまとめました。この結果を基に今回協議いただく内容は「(ア) 1つ目のテーマは人口減少対策についてでよいかどうか」、「(イ) 行先の1つは山形県東根市でよいかどうか」、「(ウ) 東根市に行く場合日程は10月10日・11日に限られるが委員の都合は大丈夫かどうか」、「(エ) 研修策のもう1ヶ所はどういったテーマとするか」の4点です。東根市について前回候補地として挙がりまして、菅野委員が東根市側と調整していただき、10月10日・11日の日程を押さえていただきました。ですので、東根市に行く場合は日程が10日・11日となりますのでそれを踏まえたうえで協議の方を進めていただければと考えています。

○五賀会長

只今説明がありました。東根市とはどこまで調整をつけているのか報告をいただけますか。

○菅野委員

東根市の市長の日程を10日と11日両日押さえている形です。ただ、事務局に伺ったところ皆さんの日程では16日から20日の方が都合がいいということでしたので、委員の皆さんの日程次第であるという状況です。

○五賀会長

皆さん、日程は大丈夫ですか。

○大内委員

ぜひ東根市に行きたいのですが、民生委員児童委員の定例会があるので調整が必要となります。現時点では難しいです。

○五賀会長

他の皆さんはいかがですか。

○大塚委員・多田委員

この日程で大丈夫です。

○星委員

大内さんが10日難しいのであれば、11日・12日で良いのではないのでしょうか。2日とも東根市ではないですよ。

○事務局

2日とも東根市というわけではありません。10日か11日のどちらかを東根市で研修をすることで考えていましたので、11日を東根市、12日を別の市町村にすれば可能な日程です。ただ、委員の皆さんの日程は大丈夫でしょうか。

○五賀会長

都合の悪い方はいらっしゃいますか。いないようですので日程は11日・12日として11日を東根市とすることによろしいですか。

○委員より

異議なしの声

○五賀会長

では、そのようにします。

○鹿島区地域振興課振興係長

次に、2日目のテーマを委員の皆さんで協議いただきたいと思います。アンケートで回答のあったテーマから選んでいただいても良いですし、新たなテーマでも構いませんので意見を出していただき、決めていただければと思います。

○大塚委員

高齢者の交通事故が社会問題となっていて、運転免許証の自主返納が進められています。ですので、デマンドタクシーを見てきてはどうでしょうか。場所は町中で実施しているところではなく、山の方で実施しているところだと参考になると思います。

○菅野委員

この前テレビで見たのですが、タクシーの運転手などではなく、普通の人が乗合で目的地まで送って行くことをしていました。

○鹿島区役所長

デマンドの研修良いと思います。南相馬市でも公共交通の基本構想で鹿島区は定額タクシー、小高区では自動走行の実験が進められています。そういう意味ではデマンドについての研修は大変有意義なものになると思います。

○五賀会長

テーマは公共交通についてとしますか。

○丹野副会長

土地や人の流れ、高齢者向けかどうかなどデマンド交通は鹿島区の現状と合わないところでは行っても参考にならないと思います。

○鹿島区地域振興課振興係長

デマンド交通の高齢者にしぼって候補地を探したいと思います。

○西委員

鹿島区に似ている場所を探してほしいです。鹿島区の現状としては厚生病院のしあわせ号、福島交通、スクールバス一部あります。このようなところをお願いします。

○五賀会長

事務局で検討してもらいたいと思います。

(3) その他

①第2回鹿島区地域協議会で出た質問の回答について

○五賀会長

次に「(3) その他①第2回鹿島区地域協議会で出た質問の回答について」事務局より説明をお願いします。

○鹿島区地域振興課振興係長

前回前田委員から質問のあった小高区の遠隔診療に係る予算について回答させていただきます。こちらの事業内容としまして、小高区に居住する市民のうち、診療が必要であるが来院できない患者に対して在宅診療を実施するほか、新たに「遠隔診療システム」を導入し、予防医療を推進するものです。遠隔診療は看護師が患者宅にタブレット持参で訪問し、病院内のパソコンで医師と通信して患者に対して医師が画面越しに健康指導や診療を行うものです。

この事業の予算は1,741千円で内訳としては機械やシステムなどの導入費が432千円、使用料が589千円、車両リース料が720千円となっています。

○前田委員

174万円でできるなら、鹿島区や原町区でもやってほしいです。

○鹿島区地域振興課振興係長

174万円については医師の賃金等は含まれていませんので174万円でできるというわけではありません。

○前田委員

機械を含めて174万円なのですか。この金額で機械が購入できるとは思えません。また、この金額ならなぜ安部首相が来たのか分からない。

○鹿島区地域振興課振興係長

機械を含めた金額です。

○鹿島区役所長

前田委員は薬剤の関係と勘違いしているのではないのでしょうか。この遠隔診療については看護師がタブレットを持って、病院にいる医師のパソコンへタブレットで撮った動画を送り健康指導を画面越しに行うものです。そのため自宅で薬が処方されるわけではありません。また、タブレットも何十万もするものではありません。1台数万円で購入できます。安部首相がいらっしゃったのは金額が高額となる事業だからではなく、遠隔診療が日本初だったからだと思われまます。

○前田委員

医師と看護師の賃金はどうなっているのか

○鹿島区地域振興課長

市の職員ですので毎月医師と看護師に給与を支払っています。

○前田委員

ぜひ上栢窪等でも実施してほしいです。

○五賀会長

他になにかありますか。なければ次に進みます。

(3) その他

②次回の日程について

○五賀会長

次に「②次回地域協議会の日程について」事務局より説明をお願いします。

○鹿島区地域振興課振興係

事務局としては次回の日程は8月8日(火)午後1時30分からを提案します。

○五賀会長

只今事務局より提案のありました日程でよろしいですか。

○委員より

異議なしの声

○五賀会長

では次回の日程は8月8日(火)午後1時30分からとします。よろしくをお願いします。その他、何かありますか。

○西委員

鹿島駅の駅舎についてNPO法人に貸すようになったのですか。

○鹿島区地域振興課長

どこが借りるという話にはまだなっていないと思います。

○西委員

募集している段階ですか。

○鹿島区地域振興課長

鹿島区の観光協会と商工会ではやらないという回答がありました。市でもやりません。NPO法人が水戸支社と協賛していると聞きました。その後募集しているのかも、決定しているのかも分かりません。

○西委員

NPO法人が交渉しているのですか。

○鹿島区地域振興課長

交渉しているのかも分かりません。話をしたということは聞いています。決定したということは聞いていません。

○菅野委員

商工会と観光協会は断ったのですか。

○鹿島区地域振興課長

今年の段階で駅が無人駅となる時点で商工会と観光協会に無人駅にならないよう話をしましたが、人がいないということで対応できないということで話を受けました。

○前田委員

この前新聞で新地町の記事を読みました。新地町の駅の管理状況について分かっている範囲で教えてください。また、南相馬市職員が管理すればよいのではないのでしょうか。

○鹿島区地域振興課長

JR水戸支社から新地町が業務委託契約を受け、町が個人へ業務委託をし管理をする人を雇ったが、辞めたので現在募集していると思われます。南相馬市では人がいないということで人を働けない状況です。

○前田委員

業務だと言われればやるしかないのではないですか。

○鹿島区地域振興課長

現在の南相馬市職員の業務の中に鹿島駅の管理は入っていないので、地方公務員法に抵触するのでできません。

○丹野副会長

小高の小学校の仮設校舎の跡地は更地にして鹿島中学校に返されますが、

正式なグラウンドの整備は後回しになるのですか。現状は仮のグラウンドということで石ころがごろごろあり、上真野地区まちづくり委員会のグラウンドゴルフ大会で使用したかったのが業者に撤去をお願いしましたが、石ころの撤去はできないと断られたそうです。子ども達がサッカーしたり野球したり走り回ったりすると危ないです。仮のグラウンドを先とかでなく、一括で整備は出来ないのでしょうか。今返事はいりませんので、あと調べてみてください。

○前田委員

30kmで義援金の40万円問題について東電の賠償請求を市で行っていますがADRを通して請求するということですが、この担当をしているのはどの課ですか。また関連死、生活保護の担当課も教えてください。

○鹿島区役所長

賠償については総務課、関連死と生活保護については社会福祉課です。

○五賀会長

その他委員から何かございますか。なければ、これを持ちまして本日の議題は全て終了しました。長時間にわたりご苦労様でした。

6 閉 会

以上のおり相違ありません。

会 長

五賀和雄

会議録署名人

菅野行雄

会議録署名人

西道典

